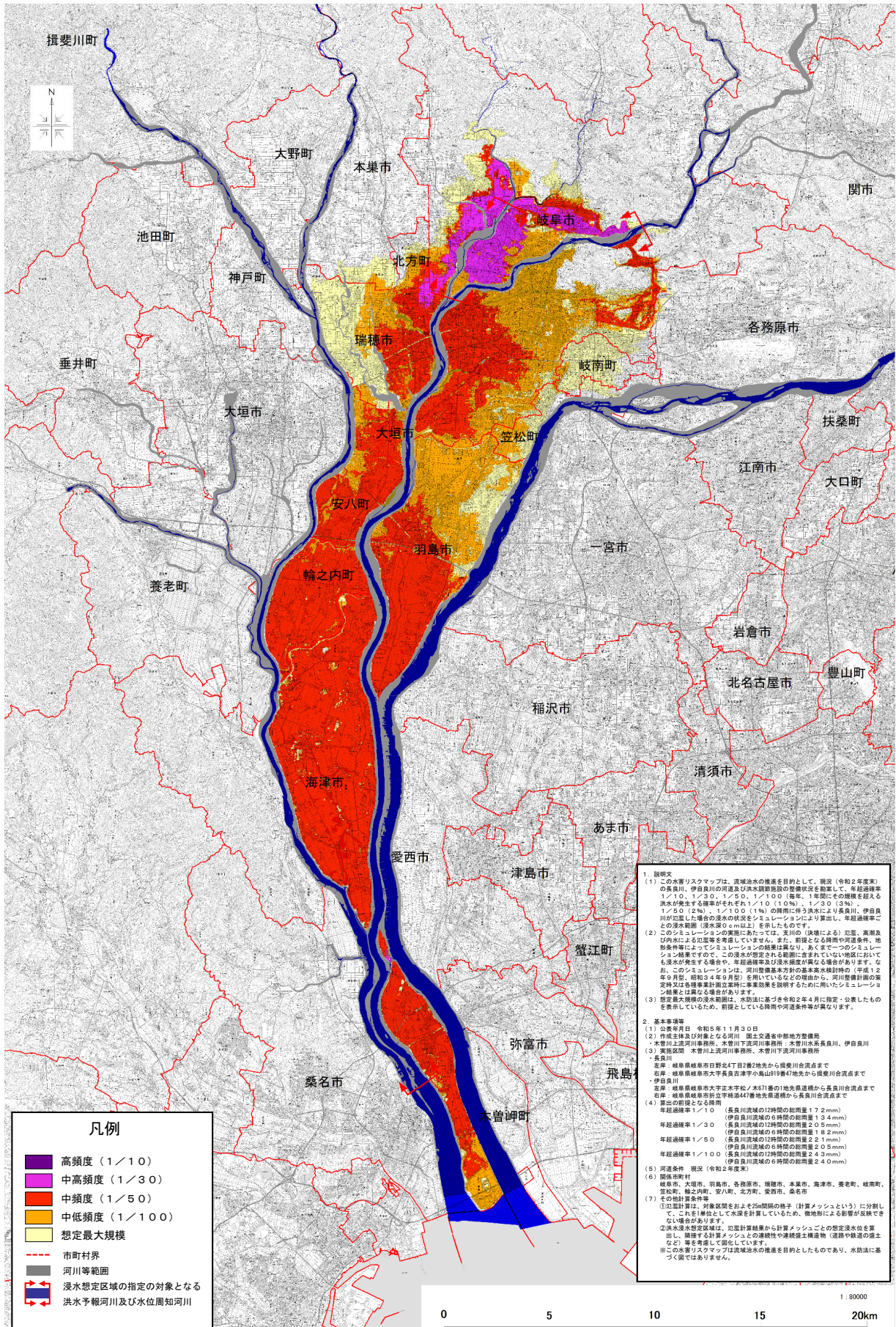


# 木曽川水系長良川 国管理河川の氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

令和5年11月末時点版

浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文  
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、現況（令和2年度末）の長良川、伊自良川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率をそれぞれ1/10（10%）、1/30（3.3%）、1/50（2%）、1/100（1%）の降雨に伴う洪水により長良川、伊自良川が想定した場合の洪水の状況をシミュレーションにより算出し、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深0.5m以上）を示したものです。  
 (2) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（状況による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前述となる降雨や河運条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する可能性や、年超過確率及び浸水規模が異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の（平成12年9月型、昭和44年9月型）を用いているなどの理由から、河川整備計画の策定又は変更を計画立地等に考慮するに当たってはいかなるシミュレーション結果とは異なる場合があります。  
 (3) 想定最大規模の洪水範囲は、河防法に基づき令和2年度1月指定（公表）したものを表示しているため、前後としている異同や河運条件等が異なります。

2. 基本事項等  
 (1) 公表年月日 令和5年11月30日  
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省中部地方整備局  
 木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所、木曽川各長良川、伊自良川  
 (3) 実施区間 木曽川上流河川事務所、木曽川下流河川事務所  
 ・長良川  
 左岸：岐阜県岐阜市日野北丁目2番2地先から揖斐川合流地点まで  
 右岸：岐阜県岐阜市大字長良古津字小島山919番47地先から揖斐川合流地点まで  
 ・伊自良川  
 左岸：岐阜県岐阜市大字正字松ノ木677の1地先渡瀬から長良川合流地点まで  
 右岸：岐阜県岐阜市新立字津添447番地先渡瀬から長良川合流地点まで  
 (4) 算出の前提となる条件  
 年超過確率1/10（長良川流域の12時間の総雨量17.2mm）  
 年超過確率1/30（伊自良川流域の6時間の総雨量13.4mm）  
 年超過確率1/50（伊自良川流域の6時間の総雨量10.5mm）  
 年超過確率1/100（伊自良川流域の6時間の総雨量8.2mm）  
 年超過確率1/50（長良川流域の12時間の総雨量2.1mm）  
 年超過確率1/100（伊自良川流域の6時間の総雨量2.05mm）  
 年超過確率1/100（長良川流域の12時間の総雨量2.43mm）  
 年超過確率1/100（伊自良川流域の6時間の総雨量2.40mm）  
 (5) 河運条件 現況（令和2年度末）  
 (6) 関係市町村 関市、大野町、瑞穂市、各務原市、瑞穂市、本巣市、海津市、養老町、岐阜市、安八町、輪之内町、安八町、北方町、瑞穂市、あま市  
 (7) その他留意事項  
 ①氾濫計算は、対象区間および25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ②洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続体土質（道路や鉄道の護土など）等を考慮して算出しています。  
 ※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川及び水位周知河川

『国土地理院の電子地形図25000【横山】【谷汲】【美濃神流】【新佐】【美濃】【美濃】【志野】【北方】【岐阜北部】【美濃関】【関ヶ原】【大垣】【岐阜西部】【岐阜】【大垣】【豊山】【美濃】【竹鼻】【一宮】【小牧】【瑞穂】【瑞穂】【津島】【津島】【名古屋北部】【電ヶ池】【阿下志】【弥富】【笠江】【名古屋西部】【関ヶ原山】【美濃】【美濃】【瑞穂】【伊郎】【日田市】、【西日田市】、【大野】、【新佐】を掲載。【掲載】に基づき『国土地理院』から提供。【使用】、【印刷】。